

2019 年度事業計画

【1】公益事業の部

1. 一般研究助成

1. 第39回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第39巻を刊行する。
2. 第40回一般研究助成の選考を行う。
3. 第40回一般研究助成贈呈式、第39回研究発表会を開催する(2019年12月13日)。

2. 臨床研究助成

JFMC34-0601：ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第II相試験）

1. 学会発表を行う。
2. 英文論文を作成する。

JFMC37-0801（付随研究）：結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査

1. 最終解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 終了報告書を作成する。
4. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2：Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討

1. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2（付随研究）：Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法の認容性に関する検討－オキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究－

1. 遺伝子統合解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC44-1101：治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討－観察研究－

1. 学会発表を行う。
2. 終了報告書を作成する。
3. 英文論文を作成する。

JFMC46-1201：再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 第7回 定期モニタリングレポートを作成する。
3. 解析結果検討会を開催する。
4. 認定IRB（CRB）へ定期報告を行う。

JFMC47-1202-C3: StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
3. 第7回 定期モニタリングレポートを作成する。
4. 学会発表を行う。
5. 英文論文を作成する。
6. 検討会を開催する。
7. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

JFMC47-1202-C3 (付随研究): StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 付随研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。
4. 検討会を開催する。

JFMC48-1301-C4: 再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 第5回 定期モニタリングレポートを作成する。
3. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
4. IDEA試験全体の解析実施に向けてデータセットを作成する。
5. 学会発表を行う
6. 検討会を開催する。
7. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

JFMC49-1601-C5: 食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎抑制作用の検討ーエントラール®非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 (EPOC2 study)

1. 症例集積を行う。
2. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
3. プロトコル改訂を行う
4. 施設訪問監査を行う。
5. 検討会を開催する。
6. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

JFMC50-1701-C6: ロンサーフ (TFTD) 使用症例の後ろ向き観察 (コホート) 研究

1. 学会発表を行う。
2. 英文論文を作成する。

JFMC51-1702-C7: 標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対するTFTD (ロンサーフ)+Bevacizumab併用療法のRAS遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相試験

1. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
2. 第2回定期モニタリングレポートを作成する。
3. 学会発表を行う
4. 検討会を開催する。
5. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

3. 臨床効果データベース事業

1. 大腸癌術後補助化学療法に関する臨床試験のデータを統合したデータベースを作成する。
2. データベースを利用した研究を公募する。
3. データベースを使用した研究のプロトコールを作成する。

4. 臨床試験審査委員会

新規臨床研究について審議予定である。

5. 倫理委員会

新規臨床研究について審議予定である。

6. 臨床研究開発・推進委員会

第4回臨床研究開発・推進委員会（メール審議）を開催予定である。

7. 研究論文支援委員会

第8回研究論文支援委員会を開催予定である。

8. 医療機器委員会

第6回医療機器委員会を開催予定である。

9. 利益相反委員会

第3回利益相反委員会を開催予定である。

10. 臨床試験管理委員会

第2回臨床試験管理委員会を開催予定である。

11. 講演会及び講習会等事業

1. 2018年度に日本生活習慣病予防協会と共催で市民公開講座（2019年2月6日）を開催したが、2019年度も同様のがん治療と予防について講演会や市民公開講座等を開催する予定である。
2. 医療機器事業記念講演会を（2020年1月）開催予定である。

12. 諸事業

1. がん集学財団ニュース No. 43を刊行予定である。
2. 財団諸事業については、当財団ホームページで適宜情報を発信する。

【2】収益事業の部

1. 医療機器事業

医療機器による市販後調査を実施予定である。